

会報 がいほう

vol. **47**

2019年12月発行

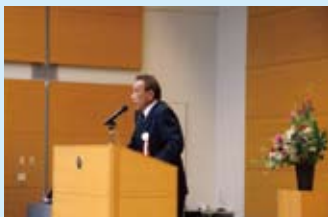
第49回茨城県青少年相談員研修大会を開催しました



日 時：令和元年10月29日（火）
午後1時から午後3時40分
場 所：茨城県庁9階 講堂
参加者：307名
大会内容：表彰式、講演会、大会宣言



県内各地域において青少年の健全育成活動を行う青少年相談員の資質向上と、さらなる活動の促進を目的として開催いたしました。



大会宣言
(抜粋)

- 一 青少年一人ひとりの個性を認めつつ、共に悩み、考え、問題解決に真剣に取り組むことで、青少年との信頼関係を築き上げ、青少年自身に備わっている育つ力を引き出していくことに努めます。
- 一 地域の親であることを認識し、家庭・学校・地域などとの連携を図りながら、青少年の健全育成、非行防止活動を推進するとともに、青少年を被害者にも加害者にもさせないための取り組みを推進します。
- 一 時代の変化にともない発生する新たな問題に対応し、青少年に適切な支援を行うために、研修・交流活動や自己研鑽に励み、更なる資質向上を図ります。

以上、宣言します。
令和元年10月29日 茨城県青少年相談員連絡協議会



おめでとうございます！ **令和元年度茨城県表彰受賞者**

つくば市青少年相談員 川連 雅子 様

功績概要：多年にわたり、街頭における青少年への声かけ・相談活動に取り組み、青少年の健全育成と非行防止に貢献

第49回 茨城県青少年相談員研修大会



■知事ほう賞（永年活動者）



■知事ほう賞（退任者）



■功労者表彰（一般功労者表彰）



■功労者表彰（県連役員表彰）

■知事ほう賞（永年活動者）

鈴木永相	木山澤口	勝勝賀	男子巳子	(北茨城市)	茨城市	茨城市	大坂菊坂	森原池場	孝啓伸利	信子也治	(北茨城市)	茨城市	茨城市	瓦藤木名	吹平瀨	勢雅惠	津子子子	(北茨城市)	茨城市	茨城市
山相山大	塚岡淵	恒啓靖	子一子	(北茨城市)	茨城市	茨城市	新岩藤	堀井田	重初行	夫男雄	(北茨城市)	茨城市	茨城市	栗横廣	雪原山	賢浩玲	子子子	(北茨城市)	茨城市	茨城市
飯岩				(北茨城市)	茨城市	茨城市					(北茨城市)	茨城市	茨城市		澤	清	志	(北茨城市)	茨城市	茨城市

■知事ほう賞（退任者）

滑雨濱	川谷野	勝精道	一一夫	(北茨城市)	茨城市	茨城市	大岩近知	森月藤	千榮え	代子也	(水戸市)	戸栖手	市市市	江佐河	島木崎	英正美	俊二江	(水戸市)	戸来手	市市市
阿岡中	掛野野	治惠治	子郎	(北茨城市)	茨城市	茨城市	関染	久根谷	信良法	枝子	(水戸市)	河	市市市	初市西	見村山	浩修一	二司雄	(水戸市)	手河妻	市市市
				(北茨城市)	茨城市	茨城市					(水戸市)	西	市市市	西	山			(水戸市)	妻	市市市

■功労者表彰（一般功労者表彰）

武永藤	田峯田口	和紀邦孝	子男史	(日大市)	立立子	市市市	前井中	田坂山	深友一	紀之美	(日大市)	立立子	市市市	坪山岩	井川崎	善と禮	吉子子	(日大市)	立立子	市市市
江川佐	又藤塚	正美代	子一子	(日大市)	立立子	市市市	草岡引	柳田藤	茂貴武	美春子	(日大市)	立立子	市市市	竹笠安	内井藤	し京悦	子子子	(日大市)	立立子	市市市
飯水山	島崎木	洋勝弘	子一子	(日大市)	立立子	市市市	加椎大	名根原	慶玲昭	幸子子	(日大市)	立立子	市市市	渡高野	邊島口	克保文	子子子	(日大市)	立立子	市市市
黒成濱	田井田	美純久	子一子	(日大市)	立立子	市市市	石須吉	崎田木	君賢比	子子子	(日大市)	立立子	市市市	森堀小	内越沢	一泰茂	子子子	(日大市)	立立子	市市市
安塩藤	原塚原	賢輝義	子一子	(日大市)	立立子	市市市	荒小野	保本見	裕	治子司	(日大市)	立立子	市市市	堀西中	木江山	三幸一	子子子	(日大市)	立立子	市市市
石吉鈴	木畑村	と	子一子	(日大市)	立立子	市市市	久小野	里持島	定一	功一勇	(日大市)	立立子	市市市	松青堀	山沼田	と	子子子	(日大市)	立立子	市市市
大飯松	本		子一子	(日大市)	立立子	市市市	風中倉	口		衛男	(日大市)	立立子	市市市	谷	田貝	と	子子子	(日大市)	立立子	市市市

■功労者表彰（県連役員表彰）

佐大菅	藤森谷	留里京	等子修	(日大市)	立立子	市市市	石関松	井金田	勝美恵	三守里	(常陸市)	立立子	市市市	小倉崎	英子博		子子子	(常陸市)	立立子	市市市
小	更		修	(日大市)	立立子	市市市	寺	田	子	里	(常陸市)	立立子	市市市	中島	フクヨ		子子子	(常陸市)	立立子	市市市
				(日大市)	立立子	市市市					(常陸市)	立立子	市市市	大	まり			(常陸市)	立立子	市市市

新 役 員 紹 介

役職	氏名	加ツク	市町村	担当委員
会 長	山口 恒巳	3	茨 城 町	総務・編集
副 会 長	澤幡 敬智	1	日 立 市	編集
〃	五十嵐榮子	4	鹿 嶋 市	総務
〃	飯塚 壽子	6	牛 久 市	編集
〃	横山 幸造	8	筑 西 市	総務
常任理事	鈴木 保寿	1	北 茨 城 市	総務
〃	横山 知恵	1	高 萩 市	編集
〃	益子 勝博	2	大 子 町	総務
〃	渡辺 忍	2	大 子 町	編集
〃	田山 忠	3	大 洗 町	編集
〃	佐藤百合子	3	東 海 村	総務
〃	藤代 健二	4	神 栖 市	総務
〃	保立てつ子	4	神 栖 市	編集
〃	小林 眞二	5	石 岡 市	総務
〃	山田 陽子	5	土 浦 市	編集
〃	飯田 博	6	つくばみらい市	総務
〃	篠田 啓子	6	稲 敷 市	編集
〃	鈴木 昇	7	五 霞 町	総務
〃	木村美智子	7	五 霞 町	編集
〃	古澤 鶴雄	8	結 城 市	総務
〃	馬場香代子	8	八 千 代 町	編集
監 事	坂本 義治	5	つ く ば 市	-
〃	林 照雄	7	古 河 市	-
顧 問	葉梨 衛		岩上 照代	
	山岡 恒夫		小堀 和久	
	霜田 實			

講演会より

「安全・安心なインターネットとの付き合い方」

講師 お茶の水女子大学教授

さかもと あきら
坂元 章 氏



講演会には、大学教授の坂元章先生をお招きしました。

坂元先生は、インターネットの健全利用を社会全体で支えるための取組みに詳しく、内閣府文部科学省をはじめ、行政関連の事業に多数参画されています。

ネット依存やSNS関連のトラブル、映像投稿問題の広がりなどが指摘されています。坂元先生によれば、「子どもは、リスク志向行動や自己統制の発達途上など生得的特性があるため、ネットトラブルも引き起こしやすい」世代とのことです。このため、インターネットの活用と安全の両立を図ることが重要となります。

では、私たち大人に何ができるか。坂元先生からは、「ネットトラブルの回避に必要なことの多くは一般的な道徳や安全上の注意と変わりません。子どもと一緒にルールを作り、お手本や相談相手になることによって、子どもたちを守ることが私たち大人の責任です。」とのお話をいただきました。



県知事及び県連会長から表彰を受けられた方々を代表して

この度は、知事ほう賞をいただき、誠にありがとうございました。私が23年間、青少年相談員として活動できました事は、多くの皆様のご支援とご指導のおかげと感謝しています。

あいさつ・声掛け運動やパトロール等を通し、地域の方々や子どもと関わることで、地域における青少年相談員の役割や重要性をますます感じております。

これからも地域とともに青少年の健全育成のために、活動に取り組んでまいりたいと思っております。

知事ほう賞（永年活動者）受賞 岩井 初男（利根町）

この度は、「功労者表彰」を頂き、誠に有難うございます。私が青少年相談員として活動出来ましたことは、皆様方のおかげと心より感謝いたします。

近年、青少年を取り巻く環境は急激に変化し、様々な問題が発生している世の中です。学校や警察等との連携を図りながら安心安全な地域を築きたく感じております。

皆様方の益々のご活躍を期待し、お礼の言葉といたします。ありがとうございました。

功労者表彰（一般功労者表彰）受賞 井坂 友之（常陸太田市）

この度は、「知事ほう賞」を頂き誠にありがとうございました。どのくらい子供達と話ができただけかと思えば、今世生活水準が少だけ余裕あり何となく自分本位になりがちな社会環境の中で迷いながら歩き、でも時は過ぎ大人になり社会を背負う青少年は希望を持ち未来を考え周りに目を配れる余裕のある社会人になってほしいと思っております。これからも応援していきます。

最後に青少年相談員の益々のご活躍を祈願して、御礼の言葉とします。

知事ほう賞（退者任）受賞 江畠 英俊（水戸市）

この度は、本部役員との退任にあたり感謝状をいただきありがとうございます。

県の副会長を受けた際は、常任理事の経験もなくわからないことだらけで大変苦労しました。周りの方々にも沢山ご迷惑をかけてしまったことと思います。

ふと過去を振り返ってみると、大変だったこともありますが、県内各地の仲間に出会えたことが大きな財産だと思っています。これからも子ども達とのかかわりの中で、沢山勉強していきたいと思っています。

功労者表彰（県連役員表彰）受賞 松金 美土里（石岡市）

平成30年度茨城県青少年相談員連絡協議会事業報告

事業実績及び成果

青少年相談員の資質の向上と地域における青少年相談員活動の推進を図り、青少年の健全育成と非行防止に資することを目的として、次の事業を実施しました。

監査報告

茨城県青少年相談員連絡協議会会則第9条の規定に基づき、平成30年度の事業報告書、収支決算書、その他の付属書類について、平成31年4月19日に監査した結果、会計事務処理並びに決算内容について、適正であることを認め報告いたします。

監事 大森 留里子
監事 寺田 美恵子
平成31年4月19日

平成30年度茨城県青少年相談員連絡協議会事業報告

実施事業名	実施期日	事業の概要
理事会及び地区会長会議の開催	H30.5.29(火)	・平成29年度事業報告及び収支決算について ・平成30年度運営方針及び事業計画、予算について(会場：茨城県市町村会館)
常任理事会の開催	①H30.8.28(火) ②H30.12.50(水) ③H30.1.3.26(火)	事業の円滑な実施を図るため、事業の執行について検討。 ①研修大会の運営及び功労者表彰等について ②研修大会結果及び協議会の課題等について ③理事会及び地区会長会議の議案等について
その他の会議	①H30.4.17(火) ②H30.8.28(火) ③H30.12.5(水)	①監査 ②機関紙第46号第1回編集会議 ③機関紙第46号第2回編集会議
機関紙の発行	H30.12(46号)	県連及び各地区の事業内容の紹介などを通し、青少年相談員相互の情報交換を図る。
第48回青少年相談員研修大会	H30.10.22(月)	青少年相談員の活動の充実及び資質向上を図るため、研修会大会を開催(会場：県庁9階講堂)。 ・講演会 講師 春日 美奈子氏 「心の居場所の大切さ～今、大人が子どもたちにできることは何か～」
功労者の表彰	H30.10.22(月)	功労のあった青少年相談員に対し、知事、県連会長の感謝状を贈呈(研修大会時に実施)。 ・知事ほう賞24名 ・功労者表彰20名
ブロック会議	随時	幹事地区が開催するブロック会議にブロック担当の副会長、ブロック選出の常任理事が参加し、相互に情報交換や意見交換をすることにより、ブロック内の連携強化を図る。
ブロック研修会(研究・協議を含む)の開催	H30.11 ～H31.2	青少年相談員の資質の向上を図り、ブロック内の連携を深め、広域的な青少年問題に対応できる体制づくりを推進するブロック研修会を開催するとともに、ブロック幹事地区へ補助金を交付。
地域活動推進(関係機関・団体との協力・連携)	随時	・県連役員が、各地域や関係機関・団体等を訪問し連携を深めるとともに、各ブロック市町村間の交流を深め、地域活動の推進を図る。 ・茨城県暴走族対策会議への参加。 ・社会を明るくする運動への参加。 ・茨城県いじめ問題対策連絡協議会への参加。 ・道徳教育推進委員会への参加。 ・(公社)茨城県青少年育成協会が実施する事業等への参加。 ・茨城県未成年者喫煙防止協議会及び未成年者喫煙防止街頭キャンペーンへの参加。
青少年相談員手帳の販売	H30.5	「青少年相談員の手引き」の携帯版である青少年相談員手帳を増刷・販売。
市町村等への補助金交付	H31.3	青少年と関わりの深い関係店舗に対し、「青少年の健全育成等に関する条例」等についての周知・啓発を行うとともに、店舗と青少年の健全育成に向けた協力体制を確立し、社会環境の健全化を図る「青少年の健全育成に協力する店」制度の普及を行った市町村等に補助金を交付。
環境健全化啓発委託事業(県委託事業)	H30.6 ～H31.3	7月(青少年の非行・被害防止全国強調月間)及び11月(子ども・若者育成支援強調月間)の期間を中心として、県内において青少年を取り巻く環境健全化に対する県民の意識啓発を図るため、環境健全化活動及び「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」等の普及啓発活動を実施し、青少年の健全育成を推進。

平成30年度茨城県青少年相談員連絡協議会収支決算書

■ 一般会計

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減額	摘要
収入総額	3,417,000	2,967,194	△ 449,806	
支出総額	3,417,000	2,582,211	△ 834,789	
差引残高	0	384,983	384,983	次年度予算へ繰越

1 収入の部

単位：円

項目	当初予算額	決算額	比較増減額	摘要
1 会費	1,144,500	1,140,500	△ 4,000	500円×2,281人
2 補助金	1,619,000	1,341,860	△ 277,140	県補助金 事業費補助 300,000円 店舗訪問活動費 1,041,860円
3 委託金	282,000	186,935	△ 95,065	県委託金(環境健全化啓発品作成)
4 青少年相談員手帳販売	189,000	115,800	△ 73,200	青少年相談員手帳販売収入 @300円×386冊
5 雑収入	408	7	△ 401	預金利子等
6 繰越金	182,092	182,092	0	前年度繰越額
計	3,417,000	2,967,194	△ 449,806	

2 支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減額	摘要
1 会議費	356,000	250,011	△ 105,989	
理事会費及び地区会長会議費	186,000	107,492	△ 78,508	会場使用料
常任理事会費	140,000	126,028	△ 13,972	会場使用料
その他会議費	30,000	16,491	△ 13,509	三役会、監査等の役員旅費
2 事業費	2,935,000	2,233,910	△ 701,090	
機関紙発行費	110,000	107,784	△ 2,216	2,800部×1回(46号)
研修大会費	350,000	147,488	△ 202,512	講師謝金、看板作成、大会プログラム印刷等
功労者表彰費	30,000	26,676	△ 3,324	感謝状等
ブロック研修会費	565,000	524,083	△ 40,917	8ブロック×@70,000、振込手数料 ※返還有
地域活動推進費	90,000	55,660	△ 34,340	関係機関訪問旅費等
青少年相談員手帳発行費	189,000	143,424	△ 45,576	相談員手帳480冊作成
補助費(店舗訪問業務補助)	1,319,000	1,041,860	△ 277,140	「協力する店」店舗訪問業務補助
環境健全化啓発委託事業	282,000	186,935	△ 95,065	環境健全化啓発品作成
3 負担金	6,000	5,324	△ 676	(公社)茨城県青少年育成協会年会費
4 事務費	68,000	42,966	△ 25,034	通信運搬費、補助金振込手数料
5 積立金	50,000	50,000	0	50周年記念誌発行資金積立
6 予備費	2,000	0	△ 2,000	
計	3,417,000	2,582,211	△ 834,789	

■ 特別会計 記念大会誌積立金

単位：円

科目	前年度繰越金	平成30年度中 増減額		平成30年度末現在高	付記
		増	減		
積立金	120,000	50,000		170,000	
雑収入	6	12		18	
計	120,006	50,012	0	170,018	

青少年相談員の活動紹介



小美玉地区

社会復帰を目指して

小美玉市青少年相談員連絡協議会 会長 横田 佳夫

第3ブロック

青少年の健全育成を目的としている団体「青少年を育てる小美玉市民の会」の協力を得て、合併前の美野里町当時から、茨城町に所在する少年更生施設「水府学院」とのちつき交歓会を、四半世紀以上前から行って来ましたが、一昨年から「ノロウイルス」に感染する恐れが有ることによって中止になっており、本年度は見当もつておりません。

「もち米などの材料と杵・うすを持参して訪問し、院生に手ほどきを行い実際にもちつきを体験する機会に更生への決意を新たにしております。」

さらには、『青少年を育てる小美玉市民の会』主催クイズウォークラリーの際に、子どもたちへの道路での安全確保に携わり、協力して活動しています。



ふるさとふれあいまつり巡回



ふるさとふれあいまつり巡回

第4ブロック

神栖地区

日頃の交流から、地域の見守りへ

神栖市青少年相談員連絡協議会 会長 藤代 健二

神栖市青少年相談員連絡協議会には、教職員11名を含む78名の青少年相談員がおります。市内を7ブロックに分け、街頭補導や青少年の健全育成に協力する店への訪問活動等を行い、地域の見守り体制の構築に努めています。

特色ある活動としては、子ども達に相談員の制服を覚えてもらい、安心して相談できる体制作りを目標に、3つの事業を行なっています。



あいさつ声かけ運動

1つ目は、市内全25の小・中・高等学校で実施している「朝のあいさつ声かけ運動」です。毎月月初めの登校時に各校門で実施をしています。

2つ目

は、相談員の幼少期の経験を活かした「昔遊び体験」です。小学校低学年の授業で、けん玉、ベーゴマ、輪投げといった昔遊び

を教えたり、歴史民俗資料館で「伝承遊び教室」に協力しています。

3つ目は、市の消費生活展での県青少年健全育成条例の啓発と昔遊び体験ブースの設置です。啓発展示のほか、深夜外出禁止の時間帯を当てるクイズなどを実施し、より認知が深まるように働きかけています。



消費生活展



昔遊び体験

今後も青少年との交流を大切にしながら、地域の見守り体制の構築と青少年の健全育成に努めてまいります。

第6ブロック

稲敷地区

青少年の笑顔のために

稲敷市青少年相談員協議会 会長 小倉 正雄

社会の変化とともに生活環境も変化し、青少年の問題行動は、いじめ・不登校・暴力行為など多岐にわたり、また学校外における問題行動も多様化しています。本市では、このような青少年の問題に対応するため、稲敷市青少年相談員協議会を設置し、市内青少年の問題行動の未然防止と早期対応に努めてきました。

本市では、13名の青少年相談員が日々活動しております。環境健全化を目的とした市内商業施設での街頭キャンペーンでは、深夜外出禁止を呼びかける啓発品等を配布することで、市民に青少年の見守りへの協力をお願いしています。その他にも他団体と協力している巡視活動やあいさつ運動、「青少年の健全育成に協力する店」への登録活動等を行っています。

稲敷市青少年相談員協議会 会長 小倉 正雄



街頭キャンペーン

第8ブロック

下妻地区

青少年の健全育成のために

下妻市青少年相談員連絡会 会長 萩原 輝雄

下妻市では、小学校区ごとの九班編成で構成された五〇名の相談員が活動しています。主な活動は、定期巡回指導と特別巡回指導です。定期巡回指導は、夜間に、大型ショッピングセンターやゲームセンター、ワイワイドーム、書店、不審者発生場所などを巡回しています。特別巡回指導では、夏祭りや千人踊り、花火大会の会場、青少年がたまりやすい場所を巡回しています。夏休み中は、カラオケ店や市立図書館、道の駅などを加え、昼間に巡回しています。

特色ある活動として、年一回、青少年相談員連絡会と下妻警察署所管下妻地区少年指導委員連絡会の合同視察研修を行っています。



危険箇所状況報告書下妻市

昨年度は牛久市の茨城農芸学院を視察しました。今年度は、一月に千葉県成田市の麻薬探知犬訓練センターの視察を予定しています。

また、社会環境整備活動として、青少年を育てる下妻市民の会と連携して、通学路

や子供たちの公園等の遊び場の危険箇所のチェックや青少年に好ましくない環境の点検を行いました。その結果は、「危険箇所状況報告書」としてまとめ、警察署や農政課、建設課、消防交通課、上下水道課、指導課、学校教育課に修理・改善等の協力を依頼しています。

相談員と児童生徒の「顔と顔が見える環境づくり」を目指して、市内各小中学校で朝の挨拶運動を実施しています。小学校が七月に、中学校が十一月に、児童生徒の登校時間に合わせ、校門前や昇降口前で、挨拶運動に取り組んでいます。そのほか、社会を明るくする運動街頭キャンペーンにも参加しています。

近年、青少年を取り巻く環境は急激に変化しており、青少年によって引き起こされる犯罪やいじめ問題、虐待問題等、青少年の非行及び被害の両面において予断を許さない状況となっています。このような時こそ、相談員の責務を再認識し、青少年にとって身近なよき理解者として寄り添いながら、青少年の健やかな成長を見守っていききたいと思えます。



社会を明るくする運動下妻市

令和元年度 茨城県青少年相談員連絡協議会事業計画

運営方針

少子高齢社会が進行する中で、青少年を取り巻く環境は、家庭や地域における教育力の低下や大人の規範意識の低下、インターネットを介した事件やトラブル、いじめや児童虐待などさまざまな問題を抱えている。

当協議会としては、青少年が安全で安心して生活し健全に育まれることを目指して、家庭や学校、地域そして警察等関係機関・団体と連携・協働することはもとより、各種研修会等を実施することにより、青少年相談員の資質向上を図るほか、青少年相談員活動の一層の活性化を図られるよう各地区協議会を支援し、青少年に及んでいる様々な問題に対応していく。

また、「青少年健全育成に協力する店」登録等活動の推進などにより、青少年を取り巻く社会環境の健全化に、より一層取り組むものとする。

重点事業項目

1. 青少年相談員研修大会の開催
2. ブロック研修会の開催
(研究・協議を含む)
3. 環境健全化啓発活動の推進
(「青少年の健全育成に協力する店」登録等活動の推進 等)
4. 関係機関・団体等の事業への協力及び連携促進

事業計画

実施事業名	実施期日	事業の概要
理事会及び地区会長会議の開催	R1.5.28(火)	・平成30年度事業報告及び収支決算について ・令和元年度運営方針及び事業計画、予算について (会場：茨城県市町村会館)
常任理事会の開催	随時	事業の円滑な実施を図るため、事業の執行について検討。
その他の会議	①H31.4.19(金) ②随時	①監査 ②編集会議の開催
機関紙の発行	R1.12(47号)	県連及び各地区の事業内容の紹介などを通し、青少年相談員相互の情報交換を図る。
第49回青少年相談員研修大会	R1.10月下旬	青少年相談員の活動の充実及び資質向上を図るため、研修会大会を開催(会場：県庁9階講堂)。
功労者の表彰	R1.10月下旬	功労のあった青少年相談員に対し、県知事、県連会長の感謝状を贈呈(研修大会時に実施)。
ブロック会議	随時	幹事地区が開催するブロック会議にブロック担当の副会長、ブロック選出の常任理事が参加し、相互に情報交換や意見交換をすることにより、ブロック内の連携強化を図る。
ブロック研修会(研究・協議を含む)の開催	R1.11~R2.3	青少年相談員の資質の向上を図り、ブロック内の連携を深め、広域的な青少年問題に対応できる体制づくりを推進するブロック研修会を開催するとともに、ブロック幹事地区へ補助金を交付。
地域活動推進 (関係機関・団体との協力・連携)	随時	・県連役員が、各地域や関係機関・団体等を訪問し連携を深めるとともに、各ブロック市町村間の交流を深め、地域活動の推進を図る。 ・茨城県暴走族対策会議への参加。 ・社会を明るくする運動への参加。 ・茨城県いじめ問題対策連絡協議会への参加。 ・道徳教育推進委員会への参加。 ・(公社)茨城県青少年育成協会が実施する事業等への参加。 ・茨城県未成年者喫煙防止協議会及び未成年者喫煙防止街頭キャンペーンへの参加。
青少年相談員手帳の販売	R1.5	「青少年相談員の手引き」の携帯版である青少年相談員手帳を販売。
市町村等への補助金交付	R2.3	青少年と関わり深い関係店舗に対し、「青少年の健全育成等に関する条例」等についての周知・啓発を行うとともに、店舗と青少年の健全育成に向けた協力体制を確立し、社会環境の健全化を図る「青少年の健全育成に協力する店」制度の普及を行った市町村等に補助金を交付。
環境健全化啓発委託事業 (県委託事業)	R1.6~R2.3	7月(青少年の非行・被害防止全国強調月間)及び11月(子ども・若者育成支援強調月間)の期間を中心として、県内において青少年を取り巻く環境健全化に対する県民の意識啓発を図るため、環境健全化活動及び「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」等の普及啓発活動を実施し、青少年の健全育成を推進する。

ご意見・ご感想をお待ちしております。

会報に関することや青少年相談員に関する
こと等のご意見・ご感想をお待ちしております。
はがき・封書・FAX・Eメール等でお寄
せください。

あ て 先

〒310-8555 (住所記載不要)
茨城県青少年相談員連絡協議会事務局
(茨城県青少年家庭課青少年グループ内)
TEL. 029-301-2183
FAX. 029-301-2189
E-mail: seishonen@pref.ibaraki.lg.jp

編集後記

本年は、平成から令和に年号が改まるなど大きな節目の年となりました。茨城県でも、9月から10月にかけて、全国的なスポーツの祭典である「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会」が開催されました。私も微力ながらボランティアとして茨城へお越しくださった皆様へのおもてなしに協力させていただきました。スポーツは、毎日の練習・努力の積み重ねが成果となります。また、それを支える多くの皆様の協力によって成り立っている様子を、大変頼もしく拝見させていただきました。さて、10月29日には「茨城県青少年相談員研修大会」が開催されました。知事ほう賞並びに功労者表彰を受賞された皆様、大変おめでとございました。永年にわたり青少年の健全育成にご尽力されたことに、同じ相談員として大きな敬意を表します。地域での活動は、スポーツと同じく、コツコツと努力を積み重ねていくことで深まってしまうと思えます。各ブロックの活動報告を拝見しますと、創意工夫を凝らしながら様々な活動が行なわれていることがわかります。本紙によって、県内の情報が共有され、新たな気付きや、相談員の資質向上、非行防止活動の更なる発展に繋がれば大変嬉しく思います。(保立)